

登録コード	HM125800	開講年度	2026				
授業題目	遺伝医学・予防医学特別研究				担当教員	古庄 知己 他	
英文授業名	Research Thesis in Medical Genetics and Preventive Medicine				副担当	高野 亨子・稲葉 雄二・中村 勝哉・山口 智美	
単位数	10	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期		対象学生
講義室				授業形態	演習	備考	
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素 ⇄				(授業の達成目標)		
	2026HM医学分野初, 2025HM医学分野初, 2024HM医学分野初, 2023HM医学分野初						
	【専攻】医学・保健学研究の専門分野近傍の課題に対して新たな知見・技術を生み出す応用力 ⇄				遺伝医学研究の様々な手法を説明し、実践できる。		
(2)詳細 /Detailed information	遺伝医学研究の様々な方法について学ぶことを目的とする。						
(3)授業の概要 /Overview of course	(概要) 臨床的・基礎的な遺伝学研究の様々な手法を学ぶ。 (古庄 知己) 遺伝性結合組織疾患等を対象に、臨床遺伝学的手法を用いた研究に関する指導を行う。 (山口 智美) 次世代シーケンスなどを用いた遺伝学的検査に関する研究指導を行う。 (高野 亨子) 分子遺伝学的手法を用いた研究、知的障害等小児領域の遺伝性・先天性疾患に関する臨床的・基礎的研究に関する指導を行う。 (稲葉 雄二) 小児疾患の臨床的、基礎的研究に関する指導を行う。 (中村 勝哉) 遺伝性神経疾患の臨床的、分子遺伝学的研究に関する指導を行う。						
(4)授業計画 /Course plan	上半期は、研究手法を学ぶ。 下半期は、テーマを決め、実際の研究に取り組む。						
(5)成績評価の方法・基準 /Grading/evaluation method/evaluation criteria	研究立案能力をレポート等で評価する。評価基準は以下の通りである。 (i) 問題の設定が適切であり, (ii) その問題の背景を説明できており, (iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できており, (iv) それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法が適切に把握できており, (v) その上で自分の見解を提示できており, かつ, 教員を感心させるレベルにあれば「卓越している（秀）」。(i) から (v)の5項目を満たしていれば「かなり上にある（優）」。4項目までできていれば「やや上にある（良）」。3項目までできていれば「水準にある(可)」。						
(6)履修上の注意・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep work/Textbook(s)/Reference work(s)	博士論文の基礎になる学習です。積極的に取り組んでほしい。						
(7)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	メール (ktomoki@shinshu-u.ac.jp、t_yamaguchi@shinshu-u.ac.jp、k_takano@shinshu-u.ac.jp、inabay@shinshu-u.ac.jp、katsuya@shinshu-u.ac.jp) またはメールで時間予約をして面談を行う。						
(8)授業の形式 /Course format	定期的な面談およびメールベースで授業をする。						